



取扱説明書

EIZO IP Decoder Utility

Ver.1.0

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

-
-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-
-

目次

目次	3
EIZO IP Decoder Utilityについて	4
IPデコーダーの登録と削除	5
IPデコーダーを登録する	5
登録したIPデコーダーを確認する	7
IPデコーダーを削除する	8
IPデコーダーの情報をエクスポートする	10
IPデコーダーの情報をインポートする	11
ソフトウェア更新	13
ライセンス認証	15
診断レポート作成	17
EIZO IP Decoder Utilityの設定	20
EIZO IP Decoder Utilityの各種情報	21
エラーコード	22
付録	23
商標	23

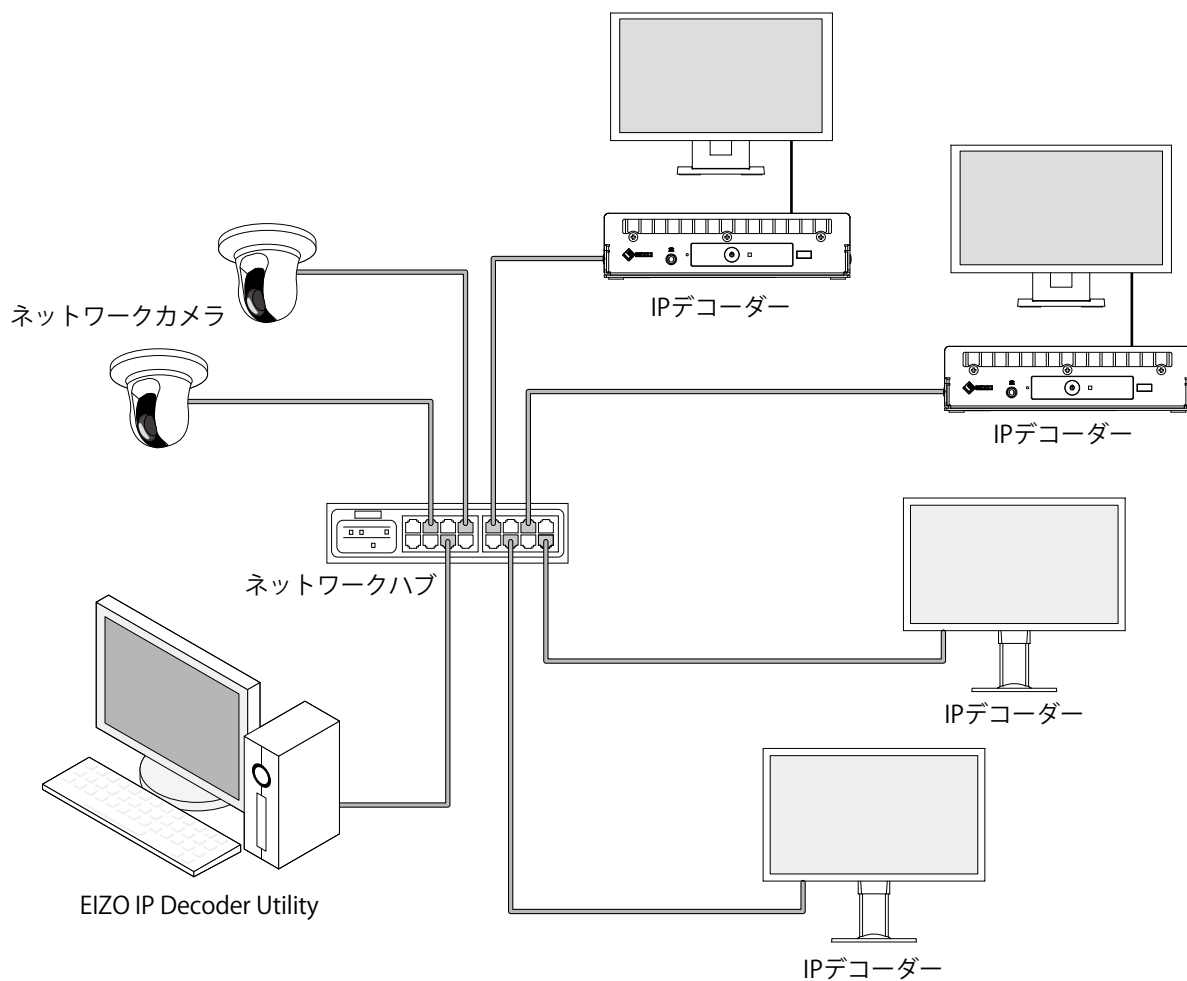
EIZO IP Decoder Utilityについて

EIZO IP Decoder Utilityは複数台のEIZO製IPデコーダー（IPデコーディングボックス / IPモニター）を一元管理するためのソフトウェアです。

管理者は、複数のIPデコーダーの情報を一覧で確認したり、IPデコーダーのソフトウェア更新を一括で実施したりすることができます。また、診断レポート作成機能により、問題解析に必要な情報を含んだファイルを簡単な操作で作成することもできます。

システム構成

ネットワーク経由でIPデコーダーと通信し、複数のIPデコーダーの情報を一元管理します。



IPデコーダーの登録と削除

IPデコーダーを登録する

管理するIPデコーダーを登録します。登録できるIPデコーダーは次のとおりです。

- FDF2711W-IP
- DX0211-IP

EIZO IP Decoder Utilityは登録した情報をソフトウェア内に保存しないため、ソフトウェアを終了すると登録済みのIPデコーダー情報はすべて消去されます。次回起動時に同じ情報を継続して使用したい場合は、「書き出し」「読み込み」機能を使用してください（「[IPデコーダーの情報をエクスポートする](#)」(P.10)、[「IPデコーダーの情報をインポートする](#)」(P.11) 参照）。

1. メイン画面で「登録」をクリックします。



手動登録画面が表示されます。

- 登録するIPデコーダーの情報を設定し、「OK」をクリックします。

手動登録

デコーダー情報を入力してください。

IPアドレス
例: 192.168.0.150

ポート
443

プロトコル
HTTPS

ユーザー名

パスワード

OK キャンセル

項目	内容	設定範囲
IPアドレス	IPデコーダーのIPアドレスを入力します。	—
ポート	IPデコーダーのポート番号を入力します。	0～65535
プロトコル	IPデコーダーを制御するプロトコルを選択します。	HTTPS / HTTP
ユーザー名	IPデコーダーに設定されているユーザー名を入力します。	—
パスワード	IPデコーダーに設定されているパスワードを入力します。	—

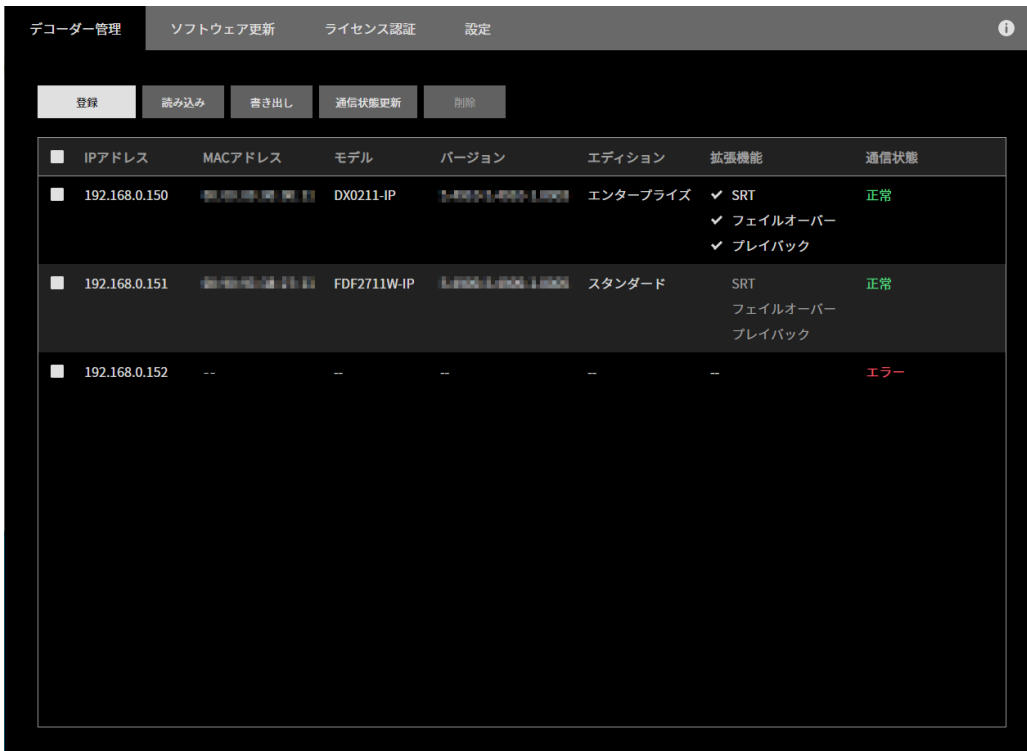
登録が正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。

- 「OK」をクリックします。

登録したIPデコーダーを確認する

メイン画面で、登録済みのIPデコーダーの情報を一覧で確認できます。

- IPアドレス
IPアドレスを表示します。
- MACアドレス
MACアドレスを表示します。
- モデル
製品名を表示します。
- バージョン
ソフトウェアバージョンを表示します。
- エディション
エディションを表示します。（ソフトウェアバージョンが5.2000以降の場合に表示されます。）
- 拡張機能
有効な拡張機能にチェックマークが表示されます。（ソフトウェアバージョンが5.4000以降の場合に表示されず。）
- 通信状態
IPデコーダーとの通信状態を1分ごとに確認し、その結果を表示します。正常に通信できない場合は「エラー」と表示されます。「通信状態更新」をクリックすることで現在の通信状態を確認することもできます。



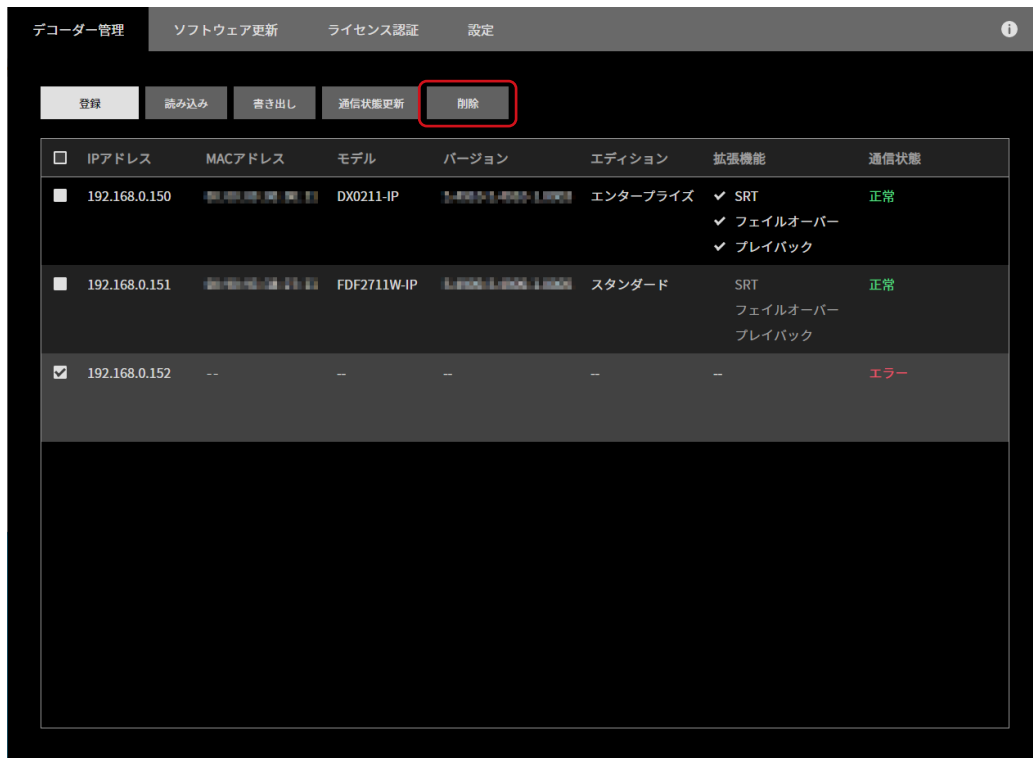
登録	読み込み	書き出し	通信状態更新	削除	IPアドレス	MACアドレス	モデル	バージョン	エディション	拡張機能	通信状態
<input type="checkbox"/>					192.168.0.150	08:00:27:00:00:00	DX0211-IP	5.2000.1000.1000	エンタープライズ	<input checked="" type="checkbox"/> SRT <input checked="" type="checkbox"/> フェイルオーバー <input checked="" type="checkbox"/> プレイバック	正常
<input type="checkbox"/>					192.168.0.151	08:00:27:00:00:00	FD2711W-IP	5.2000.1000.1000	スタンダード	<input type="checkbox"/> SRT <input type="checkbox"/> フェイルオーバー <input type="checkbox"/> プレイバック	正常
<input type="checkbox"/>					192.168.0.152	--	--	--	--	--	エラー

IPデコーダーを削除する

登録済みのIPデコーダーを削除します。複数台をまとめて削除する方法と1台ずつ削除する方法があります。

複数台をまとめて削除


1. メイン画面で削除したいIPデコーダーを選択します。一番上のチェックボックスをチェックすると、一覧のすべてのIPデコーダーが選択されます。
2. 「削除」をクリックします。

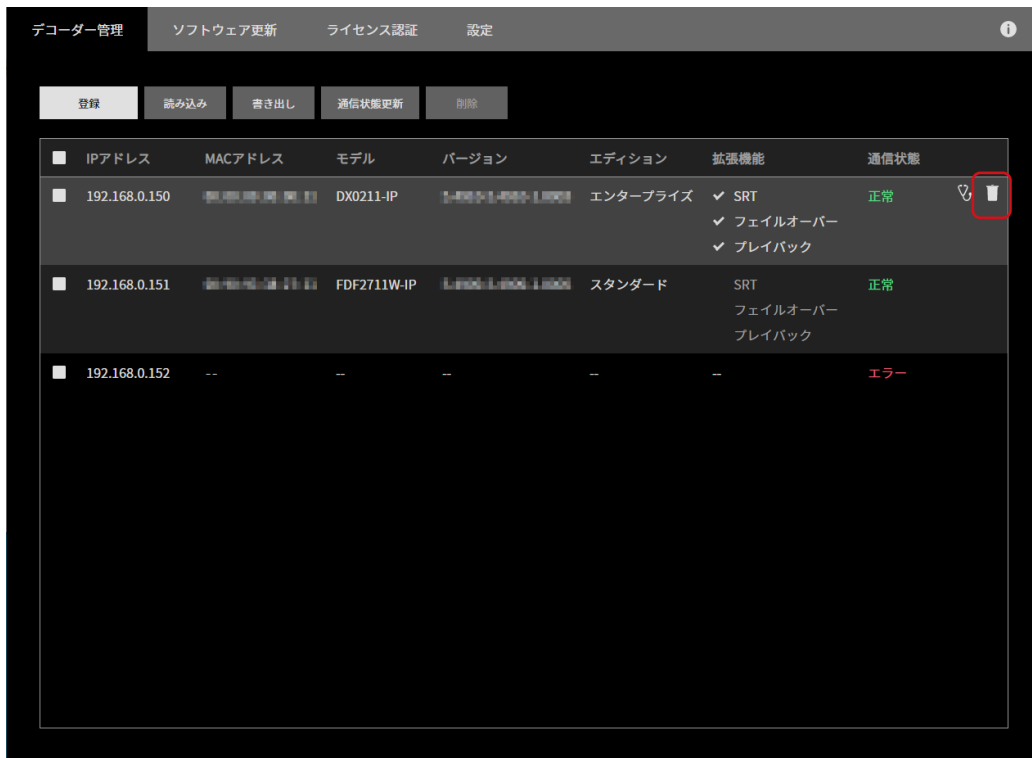


確認メッセージが表示されます。

3. 「OK」をクリックします。

1台ずつ削除

1. メイン画面で削除したいIPデコーダー上にマウスを移動し、表示された  をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

2. 「OK」 をクリックします。

IPデコーダーの情報をエクスポートする

登録済みのすべてのIPデコーダーの情報をファイルに保存します。ファイルにはIPデコーダーの次の情報が含まれます。

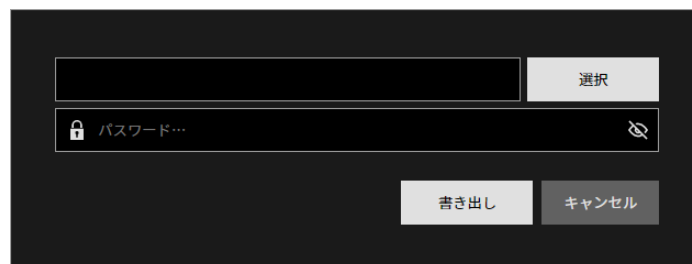
- IPアドレス
- ポート番号
- プロトコル
- ユーザー名
- パスワード

1. 「書き出し」をクリックします。



設定画面が表示されます。

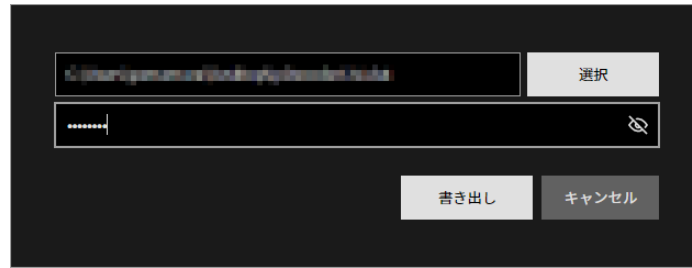
2. 「選択」をクリックします。



ファイル選択のダイアログボックスが開きます。

3. ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。
設定画面に戻ります。

4. ファイルに設定するパスワードを入力し、「書き出し」をクリックします。



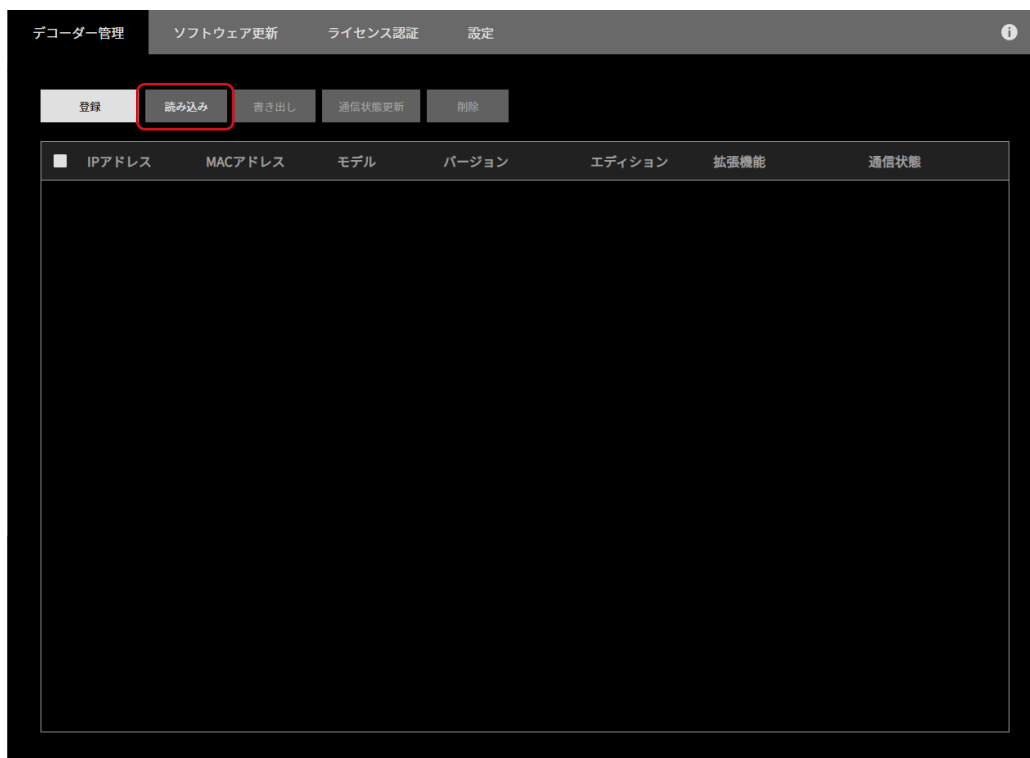
項目	内容	設定範囲
パスワード	エクスポートするファイルにパスワードを設定します。	英数字、記号（1～64文字まで）

エクスポートが正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。

IPデコーダーの情報をインポートする

エクスポートされたファイルを読み込んで、そのファイルに保存されているすべてのIPデコーダーの情報を一括で登録します。ファイルを読み込む前に登録されていたIPデコーダーの情報は削除されます。

1. メイン画面で「読み込み」をクリックします。



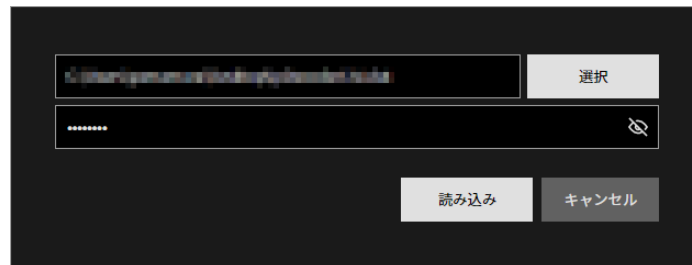
設定画面が表示されます。

2. 「選択」をクリックします。



ファイル選択のダイアログボックスが開きます。

3. インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックします。
設定画面に戻ります。
4. ファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力し、「読み込み」をクリックします。

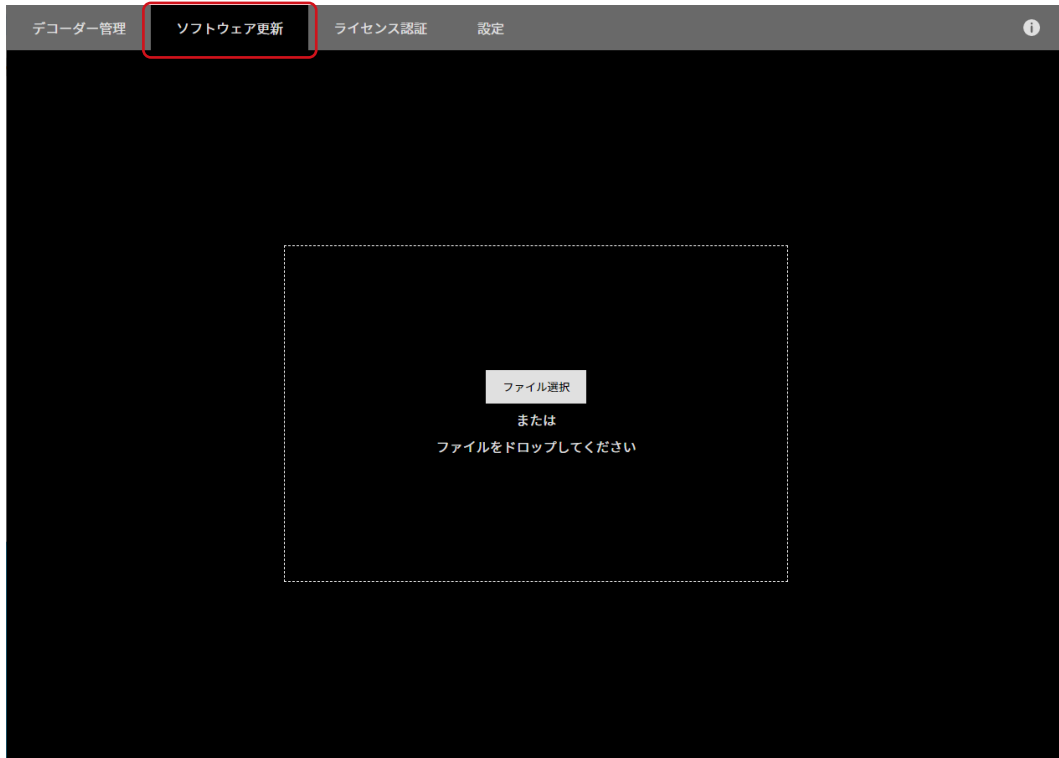


インポートが正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。

ソフトウェア更新

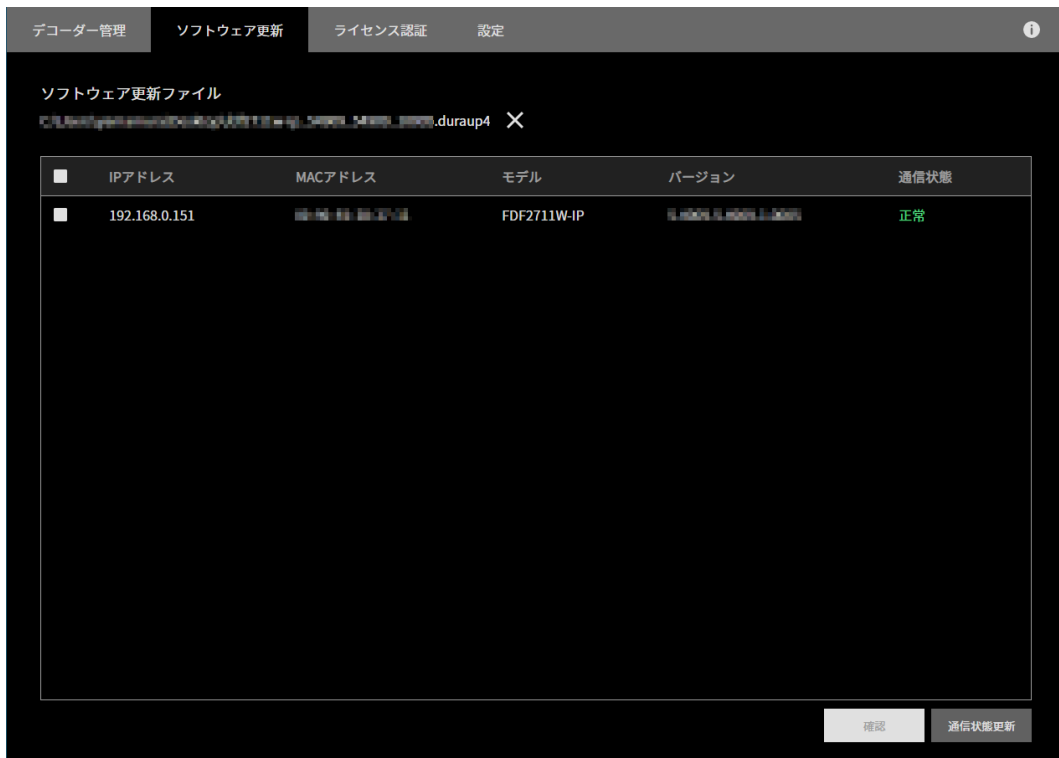
複数台のIPデコーダーに対して一括でソフトウェアのバージョンアップをおこなうことができます。バージョンアップ用のファイルは事前に当社Webサイト (www.eizo.co.jp) からダウンロードしてください。

1. メイン画面で「ソフトウェア更新」タブを選択します。



2. 画面中央の枠内にバージョンアップファイルをドラッグ&ドロップします。「ファイル選択」をクリックしてファイルを指定することもできます。
指定したバージョンアップファイルの対象となるIPデコーダーが一覧に表示されます。

- バージョンアップしたいIPデコーダーを選択します。一番上のチェックボックスをチェックすると、一覧のすべてのIPデコーダーが選択されます。



- 「確認」をクリックします。
確認メッセージが表示されます

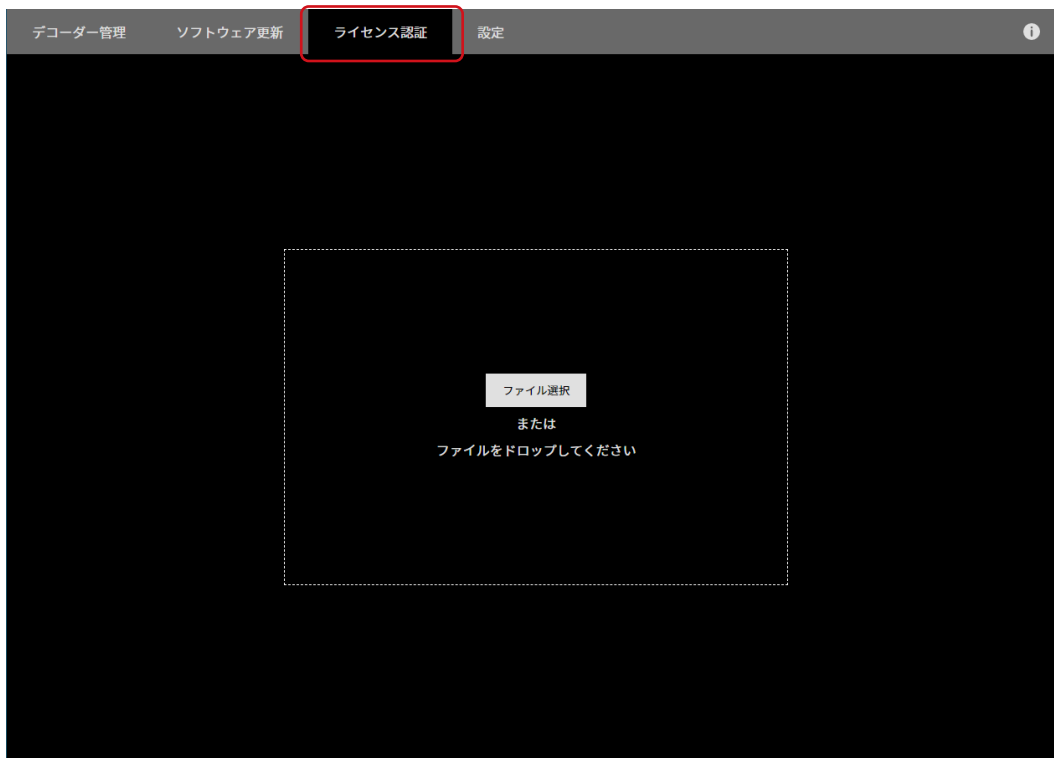
- 「OK」をクリックします。

バージョンアップが正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。バージョンアップに失敗したIPデコーダーがある場合は、失敗したIPデコーダーの情報がメッセージに表示されます。

ライセンス認証

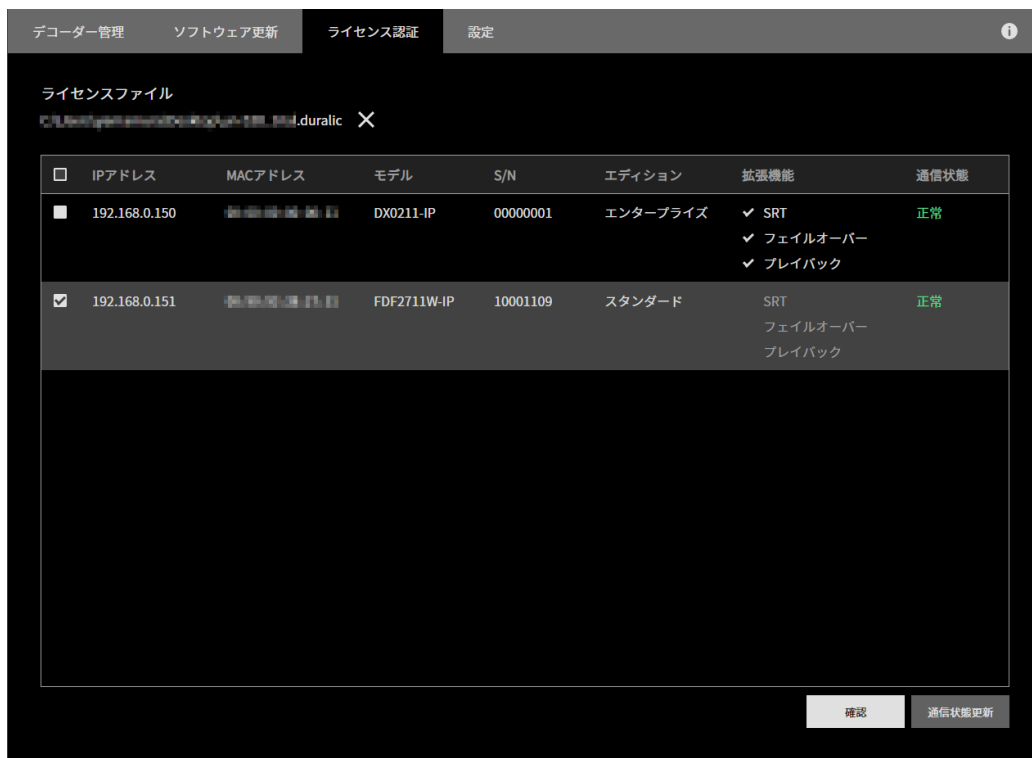
複数台のIPデコーダーに対して一括で、ソフトウェアのエディションを「エンタープライズ」に変更したり、拡張機能のライセンス認証をおこなったりすることができます。

1. メイン画面で「ライセンス認証」タブを選択します。



2. 画面中央の枠内にライセンスファイルをドラッグ&ドロップするか、「ファイル選択」ボタンからファイルを指定します
登録済みのIPデコーダーが一覧に表示されます。


3. ライセンス認証をおこなうIPデコーダーを選択します。一番上のチェックボックスをチェックすると、一覧のすべてのIPデコーダーが選択されます。



4. 「確認」をクリックします。
確認メッセージが表示されます
5. 「OK」をクリックします。
認証が正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。認証に失敗したIPデコーダーがある場合は、失敗したIPデコーダーの情報がメッセージに表示されます。

診断レポート作成

問題が発生した場合にEIZOにご提出いただくための、IPデコーダーのログや設定情報を含んだファイルを作成します。ファイルは暗号化されているため、管理者が内容を確認することはできません。

1. メイン画面で、診断レポートを作成したいIPデコーダー上にマウスを移動し、表示されたをクリックします。



診断レポート作成画面が表示されます。

- 必要に応じて「ネットワークパケット」と「スクリーンショット」を実行します。

ネットワークパケット

「実行」をクリックすると、IPデコーダーの1分間のネットワーク通信内容を取得します。（ソフトウェアバージョンが5.3000以降の場合に使用できます。）

スクリーンショット

「実行」をクリックすると、IPデコーダーの現在の表示内容を取得します。「プレビュー」をクリックすると取得したスクリーンショットを確認できます。IPデコーダーが映像を出力していない場合はエラー画像を取得します。（エディションが「エンタープライズ」の場合のみ使用可能です。）



- 「診断レポート保存」で診断レポートとして保存したい項目を選択し、「実行」をクリックします。



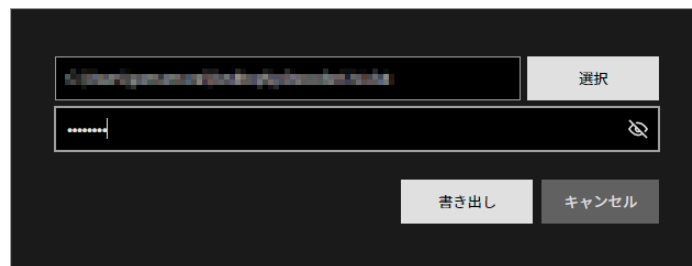
確認メッセージが表示されます。

4. 「選択」をクリックします。



ファイル選択のダイアログボックスが開きます。

5. ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。
設定画面に戻ります。
6. ファイルに設定するパスワードを入力し、「書き出し」をクリックします。



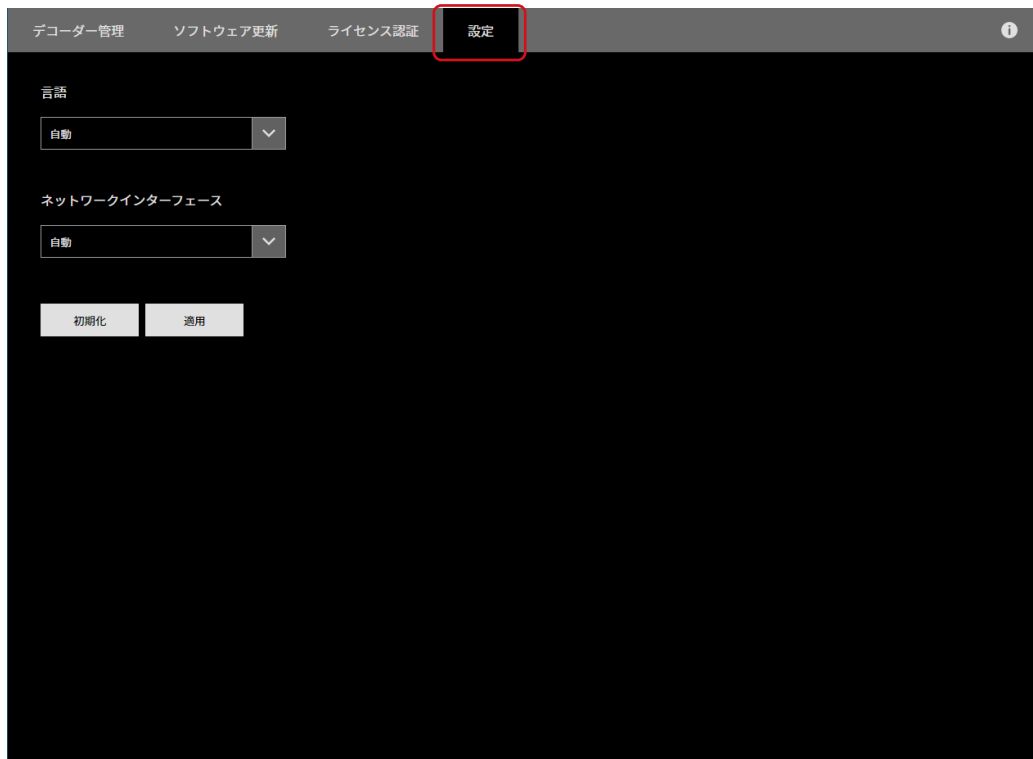
項目	内容	設定範囲
パスワード	保存するファイルにパスワードを設定します。	英数字、記号（1～64文字まで）

診断レポートの保存が正常に完了した場合は完了のメッセージが表示されます。

EIZO IP Decoder Utilityの設定

「言語」と「ネットワークインターフェース」を設定します。

1. メイン画面で「設定」タブを選択します。



2. 各項目を設定し、「適用」をクリックします。

項目	内容	設定範囲
言語	メニューや設定画面の表示言語を設定します。 初期設定：「自動」	自動 / 日本語 / English
ネットワークインターフェース	使用するネットワークインターフェースを設定します。 初期設定：「自動」	自動 / (使用環境に応じたネットワークインターフェース)

確認メッセージが表示されます。

3. 「OK」をクリックします。
「初期化」をクリックすると、初期設定に戻ります。

EIZO IP Decoder Utilityの各種情報

このソフトウェアの次の情報を参照できます。

- バージョン
- 取扱説明書
- ソフトウェア使用許諾契約書

1. メイン画面で、**i** をクリックします。
インフォメーション画面が表示されます。



項目	内容
バージョン	実行中のEIZO IP Decoder Utilityのバージョンです。
マニュアル	「PDFマニュアルを開く」をクリックすると、取扱説明書を表示します。
ソフトウェア使用許諾契約書	「ソフトウェア使用許諾契約書」をクリックすると、契約書の内容を表示します。

エラーコード

「ソフトウェア更新」のエラー

エラーコード	原因
SOF-000	指定したバージョンアップファイルに問題があります。
SOF-999	IPデコーダーの内部エラーです。
SOF-U01	IPデコーダーとの通信エラーです。
SOF-U02	バージョンアップに失敗しました。

「ライセンス認証」のエラー

エラーコード	原因
LIC-001、LIC-004	指定したライセンスファイルにIPデコーダーの情報が含まれていません。
LIC-002	ライセンスファイルの有効期間が終了しています。
LIC-003	別の製品用のライセンスファイルです。
LIC-999	IPデコーダーの内部エラーです。
LIC-U01	IPデコーダーとの通信エラーです。
その他コード	ライセンスファイルのフォーマットが不正か、IPデコーダーのソフトウェアバージョンが古い可能性があります。

付録

商標

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge、.NET Frameworkは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

